

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0498
施設名	大塚保育園
施設所在地	八王子市鹿島15
法人名	社会福祉法人のぞみの会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然のかたちと、さまざまなかたち。

<テーマの設定理由>

モンテッソーリ教育では0～6歳の子どもは感覚の洗練の敏感期にあり、感覚を使って環境を探索し環境から学ぶとされています。今回の活動では、実際に自然の中にある具体物を視覚、触覚を使って探索し、その後様々な形へと発展させて、具体物から抽象化への基盤づくりと、創造性や子どもの探究心を育むことを目的としています。

2. 活動スケジュール

令和6年の12月、令和7年の2月、3月で行った。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

近隣の公園へのお散歩で集めた様々な葉、モンテッソーリ教具の「葉のダンス（リーフキャビネット）」「じゅうたん」（今後は様々な形や色への派生「構成三角形」「地形」「色板」使用予定）

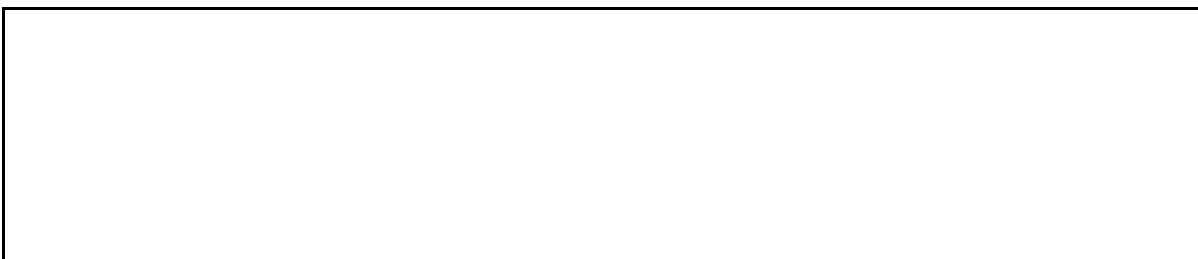
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①「葉のダンス」で形の名称を伝えた。
- ②散歩に行って「葉のダンス」に出てくる葉の形を探した。
- ③葉を見立てて造形。
- ④葉の形で分類した。
- ⑤「葉のダンス」のカード作り。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「先生〇〇の形があった!」「これはどう?」と楽しみながら葉っぱを集めたり、「こんな面白い形があった!」と色々な形に興味を示していた。分類では友達同士「これはどれかな?」「〇〇の形があったよ」と協力しながら会話もはずみ、カード作りも「僕はこれ!」「私はこっち!」と、次々とカードが出来上がるのを喜んでいた。「もっと作りたい!」という意見も多く出た。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

モンテッソーリ教具や造形の活動では、主に年少児と年中児が主に興味を持ち、形の分類に関しては、年中児と年長児が興味を持って取り組む姿が多く見られた。季節によって見つかる葉の形も変わり、普段の散歩の中でも「先生『せんじょう』があったよ!」などの声が聞こえるようになった。造形作りではイメージを広げて楽しんだり、カード作りでは色々な葉の形を切ることで、ハサミの使い方の練習にもなっていた。